

今冬の電力需給見通しについて

2024年10月29日
関西電力送配電株式会社

今冬の関西エリアの電力需給は、電力の安定供給に最低限必要とされる予備率3%を確保できる見通しです。

当社は、引き続き、電力の安全安定供給に努めてまいります。

<関西エリアの電力需給見通し>

【最小予備率時^{※1}】

(送電端、万kW)

	12月	1月	2月	3月
需要電力 ^{※2}	2,277	2,408	2,408	2,019
供給力 ^{※3}	2,631	2,688	2,733	2,484
広域予備率 ^{※4}	15.5%	11.6%	13.5%	23.0%

【最大需要時^{※1}】

(送電端、万kW)

	12月	1月	2月	3月
需要電力 ^{※2}	2,323	2,456	2,489	2,124
供給力 ^{※3}	2,682	2,734	2,812	2,630
広域予備率 ^{※4}	15.5%	11.3%	13.0%	23.8%

※1：全国大で最小予備率および最大需要となる際の関西エリアの見通しを記載。

※2：過去10年で最も厳気象であった年度並みの気象条件での電力需要（他社エリア間の不等時性を考慮したもの）

※3：地域間連系線を活用して、予備率が高いエリアから低いエリアへ、各エリアの予備率が均平化するよう供給力を移動

※4： $(供給力 - 需要電力) \div 需要電力 \times 100$

以上

<リンク：経済産業省公表資料>

<https://www.meti.go.jp/press/2024/10/20241029002/20241029002.html>